

# 女性限定刈払機講習会レポ

清原 正彦

4月10日、17日の2日にわたり女性限定の刈払機講習会が開催されました。

刈払機使用者の育成や女性参画の推進を目的に企画したのですが、アンケートで受講理由をきくと、「刈払機が使えたら役に立てるので」と思う気持ちが前からあった」「自分で動かしたかった」「活動に活かしたい」と意欲的な回答をいただきました。

講習は、基礎編、応用編と2回に分けてそれぞれ1時間半ほどで開催。



「一人ひとり丁寧にみてもらいとても分かりやすかった」「誤りをすると『こうなる』と具体例を挙げてくれたのがよかった」「応用編では前回の復習をしてもらってよかった」など、概ね良好な感想をいただいています。

そして、受講生のTさんが、早速平城京跡の草刈りに参加されました。頼もしい限りです。

一度にお教えできる人数には限度がある為、残りの受講の希望者に対しても、また新たな希望者に対しても引き続き開催していきます。

なお、刈払機に限らず、「紐の結び方を知りたい」、「練習会を開いてほしい」との積極的な要望の声をいただいていますので、是非それらの講習も開催していきたいと考えています。

ご期待ください。

## 講習会に参加して

戸田 博子

講習会が企画されると聞いて、すぐに応募しました。自分で動かしてみたいという単純な動機と、家に刈払機があるのに使う自信がなかったからです。

以前にならやまで刈払機の講習会があり、刈る練習をしましたが、その後使うことはありませんでした。

基礎編において、機械の構造を知るため全て分解し、それぞれの役目を清原さんは説明されました。特にノロノロしていても全部自分でやるのが、私にはとてもよかったです。



参加者のみんなが難しいと感じたのは、エンジンをかけた後、回転数を上げていく操作でした。強くスロットルを回しても、「作業が早く進む訳ではない」「燃料を余分に消費するだけ」「エンジンの回転音を聞く」。これは「大きな声で歌を歌っても人の心に届くわけではない」に通じる気がしました。

機械も生きているから、「上手く使って」と声をあげているのですね。

「上手く使って」と声をあげているのですね。

Tさんのようにまだまだ実戦参加は無理ですが、まずは家の庭で失敗を繰り返しながら慣れていきたいと思っています。

